

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	5年間（2015年8月19日～2020年8月18日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」）といえます。）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」）といえます。）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
	為替ヘッジなし	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
	マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコモディティ・ペーパーに投資することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 マザーファンドの純資産総額の10%以下 株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売差益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ新グローバル・
ハイブリッド証券ファンド
（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）
第6期
（決算日 2018年8月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第6期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5668>
<5669>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		騰落率		公社債組入比率	投受組 資益入	信託 証比率	純総 資産額
		込	金	期	中				
	円	円	円	騰	率	%	%	%	百万円
2期末 (2016年8月18日)	9,862	230		5.8		0.0		100.0	11,269
3期末 (2017年2月20日)	9,831	200		1.7		0.0		98.5	9,093
4期末 (2017年8月18日)	10,376	215		7.7		—		99.1	7,876
5期末 (2018年2月19日)	10,427	190		2.3		—		99.5	7,107
6期末 (2018年8月20日)	9,839	165		△4.1		—		99.1	5,831

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

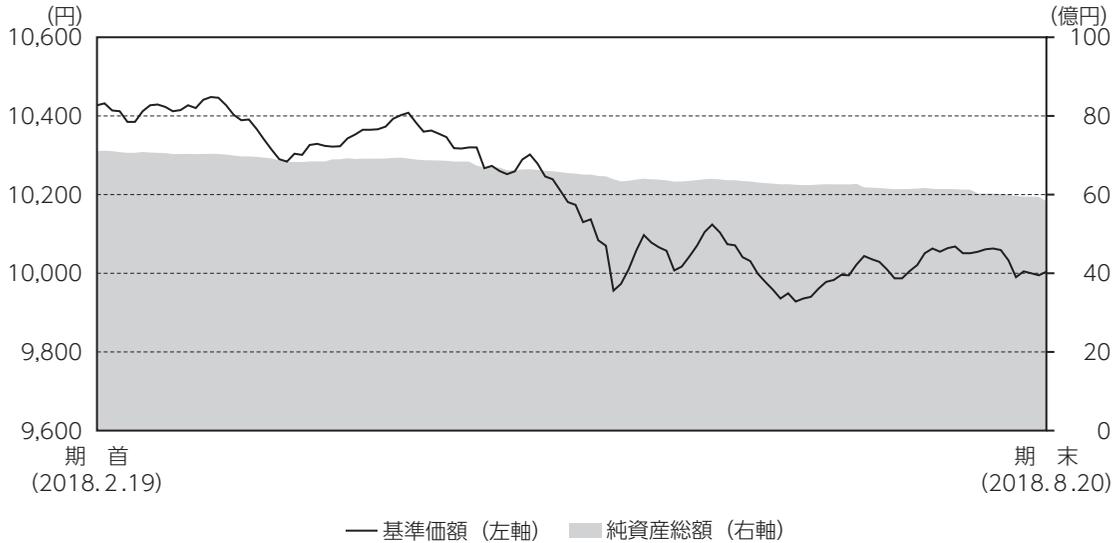
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,427円

期末：9,839円（分配金165円）

騰落率：△4.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、主にC o C o債（※）が軟調な推移となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率	率				
(期首) 2018年2月19日	円 10,427	% -	% -			% 99.5
2月末	10,427	0.0	0.0			98.9
3月末	10,326	△1.0	-			99.0
4月末	10,317	△1.1	-			99.0
5月末	9,973	△4.4	-			99.4
6月末	9,936	△4.7	-			99.1
7月末	10,055	△3.6	-			98.4
(期末) 2018年8月20日	10,004	△4.1	-			99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.2.20～2018.8.20)

■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は下落しました。

金融ハイブリッド証券市況は、期の初めより2018年3月中旬にかけて、米中貿易摩擦への懸念などからボラティリティが高まり、市場全般に流動性が低下する中、C o C o債などを中心にスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大したことから下落しました。4月中旬にかけては、米中貿易摩擦への懸念などが和らぎスプレッドがやや縮小する場面があったものの、その後はイタリアの政局混乱などを背景とするリスクオフの動きからC o C o債を中心にスプレッドが拡大し、再び下落しました。7月以降は、市場全体にリスクオンの動きが広がったことや、起債総額が例年を下回り需給環境が改善したことから、スプレッドが全般的に縮小し上昇しました。資産別ではC o C o債が軟調だった一方、米国優先証券は堅調でした。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

ポートフォリオについて

(2018.2.20～2018.8.20)

■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

G-SIFIs（金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。資産別では、C o C o債、米国優先証券、劣後債（バーゼルⅢ対応型）を中心に投資を行ないました。国・地域別では、堅調な景気に支えられ信用力の安定している米国の金融機関の比率を高めとしました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は165円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年2月20日 ～2018年8月20日	
当期分配金（税込み）	（円）	165
対基準価額比率	（％）	1.65
当期の収益	（円）	165
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	435

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	165.08円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00
(c) 収益調整金	18.46
(d) 分配準備積立金	416.87
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	600.42
(f) 分配金	165.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	435.42

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。
通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.2.20~2018.8.20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.633%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,187円です。
（投 信 会 社）	(22)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(41)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	65	0.637	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

国	買付	付		付	
		数	金額	数	金額
	千口	千円	千口	千円	
国内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	144,386.107	143,000	1,038,823.031	1,060,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	数	評価額	比率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	千口 5,831,623.394	千円 5,778,555	% 99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	期 首 当 期 末		
	数	数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年8月20日現在

項 目	当 期 末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	5,778,555	96.5
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	212,205	3.5
投資信託財産総額	5,990,762	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年8月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,990,762,042円
コール・ローン等	212,205,422
投資信託受益証券(評価額)	5,778,555,621
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	999
(B) 負債	159,626,196
未払収益分配金	97,790,914
未払解約金	19,990,000
未払信託報酬	41,578,468
その他未払費用	266,814
(C) 純資産総額(A - B)	5,831,135,846
元本	5,926,722,084
次期繰越損益金	△ 95,586,238
(D) 受益権総口数	5,926,722,084口
1万口当り基準価額(C/D)	9,839円

* 期首における元本額は6,816,529,615円、当期中における追加設定元本額は117,142,599円、同解約元本額は1,006,950,130円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,839円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は95,586,238円です。

■損益の状況

当期 自2018年2月20日 至2018年8月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	139,711,067円
受取配当金	139,727,967
受取利息	1,068
支払利息	△ 17,968
(B) 有価証券売買損益	△347,697,717
売買益	26,133,520
売買損	△373,831,237
(C) 信託報酬等	△ 41,871,618
(D) 当期損益金(A + B + C)	△249,858,268
(E) 前期繰越損益金	247,070,682
(F) 追加信託差損益金	4,992,262
(配当等相当額)	(10,943,725)
(売買損益相当額)	(△ 5,951,463)
(G) 合計(D + E + F)	2,204,676
(H) 収益分配金	△ 97,790,914
次期繰越損益金(G + H)	△ 95,586,238
追加信託差損益金	4,992,262
(配当等相当額)	(10,943,725)
(売買損益相当額)	(△ 5,951,463)
分配準備積立金	247,119,217
繰越損益金	△347,697,717

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は9ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	97,839,449円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	10,943,725
(d) 分配準備積立金	247,070,682
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	355,853,856
(f) 分配金	97,790,914
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	258,062,942
(h) 受益権総口数	5,926,722,084口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

165円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、8月20日現在の基準価額（1万口当り9,839円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		騰落率		公社債組入比率	投受組 資益入	信託証 比率	純資産総額
		込	金	期	中				
2期末 (2016年8月18日)	円 8,092	円 175		% △ 7.1		% 0.0		% 99.6	百万円 2,289
3期末 (2017年2月20日)	9,071	220		14.8		0.0		99.0	1,820
4期末 (2017年8月18日)	9,616	140		7.6		—		98.8	2,062
5期末 (2018年2月19日)	9,704	180		2.8		—		99.2	1,438
6期末 (2018年8月20日)	9,193	155		△ 3.7		—		99.4	1,277

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

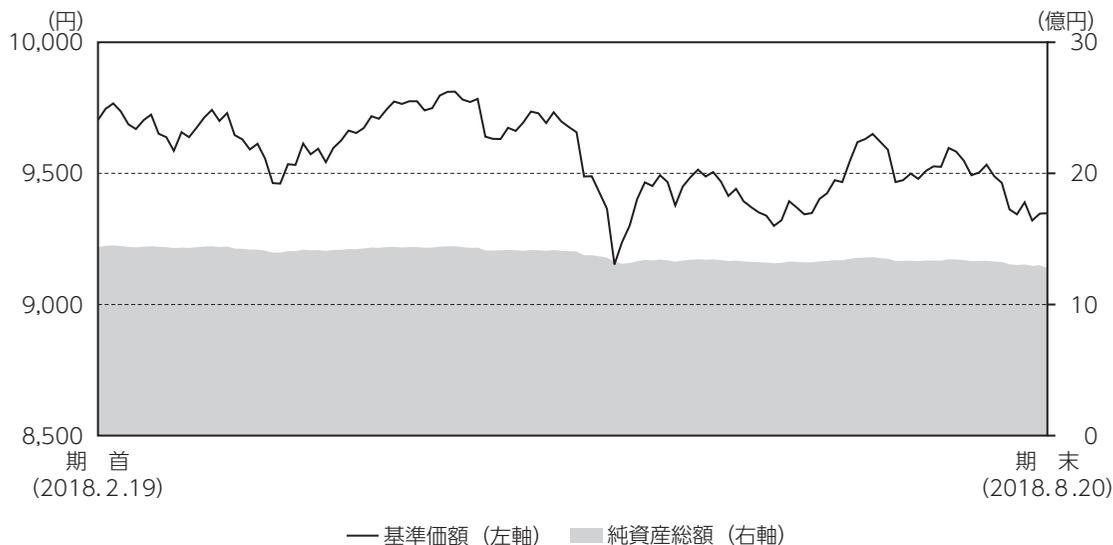
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,704円

期末：9,193円（分配金155円）

騰落率：△3.7%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、主にC o C o債（※）が軟調な推移となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2018年2月19日	円 9,704	% -	% -	% 99.2
2月末	9,724	0.2	0.0	99.1
3月末	9,573	△1.3	-	98.4
4月末	9,782	0.8	-	98.7
5月末	9,237	△4.8	-	98.5
6月末	9,321	△3.9	-	99.0
7月末	9,525	△1.8	-	98.4
(期末) 2018年8月20日	9,348	△3.7	-	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.2.20～2018.8.20)

■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は下落しました。

金融ハイブリッド証券市況は、期の初めより2018年3月中旬にかけて、米中貿易摩擦への懸念などからボラティリティが高まり、市場全般に流動性が低下する中、C o C o債などを中心にスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大したことから下落しました。4月中旬にかけては、米中貿易摩擦への懸念などが和らぎスプレッドがやや縮小する場面があったものの、その後はイタリアの政局混乱などを背景とするリスクオフの動きからC o C o債を中心にスプレッドが拡大し、再び下落しました。7月以降は、市場全体にリスクオンの動きが広がったことや、起債総額が例年を下回り需給環境が改善したことから、スプレッドが全般的に縮小し上昇しました。資産別ではC o C o債が軟調だった一方、米国優先証券は堅調でした。

■為替相場

為替相場は円安米ドル高、円高ユーロ安となりました。

米ドル円相場は、米中貿易摩擦への懸念が後退した局面や米国の金利が上昇した局面で、円安米ドル高が進行しました。

ユーロ円相場は、イタリアの政情不安やトルコ・リラが急落した局面で経済的結びつきが強い欧州への影響が懸念され、円高ユーロ安となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018.2.20～2018.8.20)

■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

G-SIFIs（金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。資産別では、C o C o 債、米国優先証券、劣後債（バーゼルⅢ対応型）を中心に投資を行ないました。国・地域別では、堅調な景気に支えられ信用力の安定している米国の金融機関の比率を高めとしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は155円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年2月20日 ～2018年8月20日	
当期分配金（税込み）	（円）	155
対基準価額比率	（％）	1.66
当期の収益	（円）	155
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	68

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	158.92円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00
(c) 収益調整金	52.70
(d) 分配準備積立金	11.92
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	223.56
(f) 分配金	155.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	68.56

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。
通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.2.20~2018.8.20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	60円	0.633%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,561円です。
（投 信 会 社）	(21)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(39)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	61	0.637	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

国	買付	付		売付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口	千円	千口	千円
		32,793.823	31,000	120,557.123	113,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口	千円	%
	1,377,859.72	1,270,662	99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年8月20日現在

項 目	当 期 末		
	評 価 額	比 率	%
	千円		%
投資信託受益証券	1,270,662		97.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0		0.0
コール・ローン等、その他	37,475		2.9
投資信託財産総額	1,308,138		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年8月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,308,138,249円
コール・ローン等	37,475,017
投資信託受益証券(評価額)	1,270,662,233
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	999
(B) 負債	30,345,744
未払収益分配金	21,544,336
未払信託報酬	8,745,328
その他未払費用	56,080
(C) 純資産総額(A - B)	1,277,792,505
元本	1,389,957,196
次期繰越損益金	△ 112,164,691
(D) 受益権総口数	1,389,957,196口
1万口当り基準価額(C/D)	9,193円

*期首における元本額は1,482,423,811円、当期中における追加設定元本額は17,943,344円、同解約元本額は110,409,959円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,193円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は112,164,691円です。

■損益の状況

当期 自2018年2月20日 至2018年8月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	30,897,303円
受取配当金	30,901,177
受取利息	138
支払利息	△ 4,012
(B) 有価証券売買損益	△ 71,620,161
売買益	2,782,055
売買損	△ 74,402,216
(C) 信託報酬等	△ 8,806,797
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 49,529,655
(E) 前期繰越損益金	△ 31,151,893
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 9,938,807 (7,325,363)
(G) 合計(D + E + F)	△ 90,620,355
(H) 収益分配金	△ 21,544,336
次期繰越損益金(G + H)	△ 112,164,691
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 9,938,807 (7,325,363)
(売買損益相当額)	(△ 17,264,170)
分次準備積立金	2,204,297
繰越損益金	△ 104,430,181

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は18ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,090,506円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	7,325,363
(d) 分配準備積立金	1,658,127
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	31,073,996
(f) 分配金	21,544,336
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	9,529,660
(h) 受益権総口数	1,389,957,196口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

155円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、8月20日現在の基準価額（1万口当り9,193円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年8月20日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を19ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
			千円				千円
723	国庫短期証券 2018/3/5		220,001				
757	国庫短期証券 2018/8/13		200,001				
731	国庫短期証券 2018/7/10		150,000				

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年8月20日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

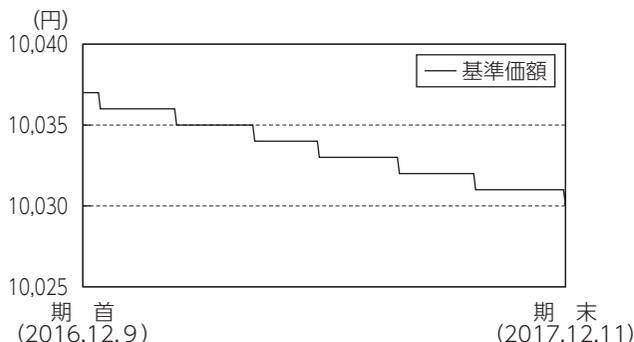
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率	組 入 比 率	%
(期首)2016年12月9日	10,037	-	-	29.1
12月末	10,036	△0.0	-	-
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1	-
2月末	10,035	△0.0	25.2	-
3月末	10,035	△0.0	-	-
4月末	10,034	△0.0	35.6	-
5月末	10,034	△0.0	6.4	-
6月末	10,033	△0.0	0.6	-
7月末	10,033	△0.0	0.1	-
8月末	10,032	△0.0	-	-
9月末	10,032	△0.0	-	-
10月末	10,031	△0.1	-	-
11月末	10,031	△0.1	-	-
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,030円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないません。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国債証券	116,573,085	(128,940,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は四捨五入。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		当 期		期	
		買 付	金 額	売 付	金 額
銘	柄		千円		千円
645	国庫短期証券 2017/2/20		17,010,400		
657	国庫短期証券 2017/4/17		10,150,199		
652	国庫短期証券 2017/3/27		9,790,078		
642	国庫短期証券 2017/2/6		9,700,144		
659	国庫短期証券 2017/4/24		9,120,282		
651	国庫短期証券 2017/3/21		7,630,194		
669	国庫短期証券 2017/6/12		6,970,248		
644	国庫短期証券 2017/5/12		6,690,300		
638	国庫短期証券 2017/1/16		5,120,041		
660	国庫短期証券 2017/5/1		4,590,081		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は四捨五入。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,906,278,899円
コール・ローン等	30,906,278,899
(B) 負債	799,000,000
未払解約金	799,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	30,107,278,899
元本	30,015,878,475
次期繰越損益金	91,400,424
(D) 受益権総口数	30,015,878,475口
1万口当り基準価額(C / D)	10,030円

* 期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、US 短期高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ (2倍) 指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインパース (-2倍) 指数821,890,786円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス6,073,206,032円、ダイワ上場投信-TOP I Xインパース (-1倍) 指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信-JPX日経400インパース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインパース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・プルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・プルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・プルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー

ポートフォリオ - S Lトレード-641,089,307円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の福音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII プラジル・リアル・コース (毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 4,981,569円、ダイワUS 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアセット垂直細株株式ファンド 9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり 49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし 49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) プラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- プラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 プラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,002,641円
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ 4,086
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ 329,559
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 21,336,286
(E) 前期繰越損益金	155,223,882
(F) 解約差損益金	△ 99,854,368
(G) 追加信託差損益金	57,367,196
(H) 合計(D + E + F + G)	91,400,424
次期繰越損益金(H)	91,400,424

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)

第6期 (決算日2018年7月18日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	無期限	
運用方針	<p>① ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を旨として運用を行います。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。</p> <p>② マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高度に維持します。</p> <p>③ マザーファンドにおけるハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行する銘柄を中心に投資を行います。</p> <p>④ ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。</p>	
	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * を主要投資対象とします。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	① 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ② 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	① 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ② 株式への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。</p> <p>② 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「投資態度」に基づいて運用を行います。</p>	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」 「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」は、このたび第6期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント
お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配 金	騰 落 率	中 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
2期 (2016年7月19日)	円 9,748	円 261	% 1.7	% -	% 95.2	% -	百万円 11,259	
3期 (2017年1月18日)	9,741	277	2.8	-	95.4	-	9,189	
4期 (2017年7月18日)	10,325	244	8.5	1.3	94.2	-	7,891	
5期 (2018年1月18日)	10,625	252	5.3	-	97.1	-	7,146	
6期 (2018年7月18日)	9,930	239	△4.3	0.6	98.1	-	5,967	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	券 率
		騰 落 率	率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(期 首) 2018年1月18日	円 10,625	% -	% -	% 97.1	% -	% -	% -
1月末	10,615	△0.1	-	95.7	-	-	-
2月末	10,518	△1.0	-	94.1	-	-	-
3月末	10,426	△1.9	-	96.9	-	-	-
4月末	10,428	△1.9	0.5	98.6	-	-	-
5月末	10,089	△5.0	0.5	97.9	-	-	-
6月末	10,060	△5.3	0.6	93.2	-	-	-
(期 末) 2018年7月18日	10,169	△4.3	0.6	98.1	-	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

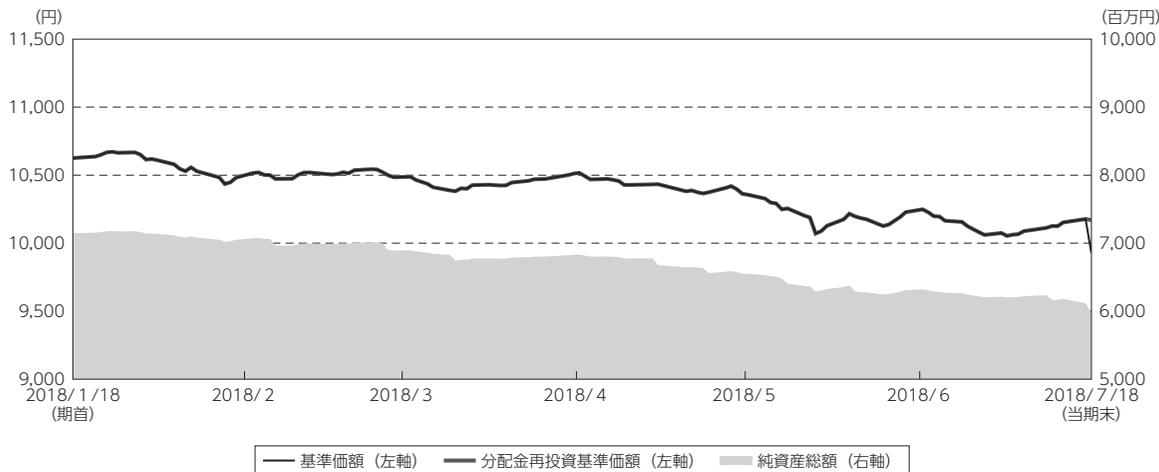
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2018年1月19日～2018年7月18日）



期首：10,625円

期末：9,930円（既払分配金（税込み）：239円）

騰落率：-4.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2018年1月18日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比4.3%の下落*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入

<値下がり要因>

- ・為替のヘッジ・コスト
- ・保有するハイブリッド証券の価格下落

投資環境

（2018年1月19日～2018年7月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、期首（前期末）に比べて下落しました。

期初から2018年2月にかけては、米連邦準備理事会（F R B）が予想より速いペースで利上げするとの見方から米国金利が急上昇しました。その後、米国金利はやや低下したものの、米中貿易戦争激化への懸念などからボラティリティが高まり、金融市場全般に流動性が低下する中、スプレッドが拡大したことから下落しました。4月にシリア情勢に対する懸念や米中貿易戦争への懸念が和らぎ、スプレッドがやや縮小する場面があったものの、その後もイタリアの政局混乱やユーロ離脱不安を背景とするリスクオフの動きからCoCo債を中心にスプレッドが拡大し、下落基調が続きました。6月中旬以降は再びスプレッドが縮小し、やや戻しました。

証券種別では、相対的にCoCo債が軟調だった一方で、米国優先証券は堅調でした。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年1月19日～2018年7月18日）

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。なお、当ファンドの外貨建資産については、高い為替ヘッジ比率を維持しました。

<マザーファンド>

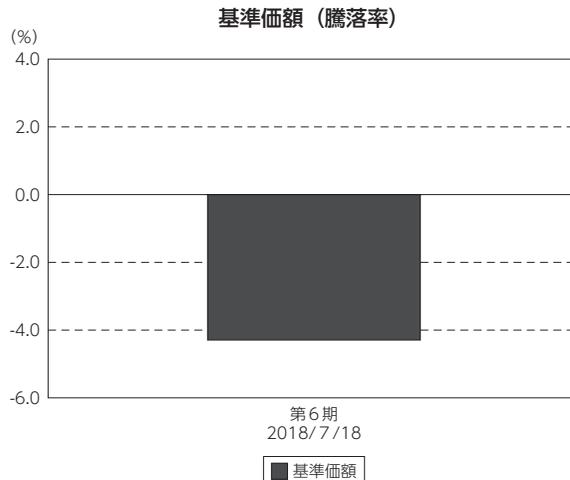
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、魅力的なバリュエーションを有する米国優先証券の組入比率が上昇した一方で、劣後債の組入比率は大きく低下しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年1月19日～2018年7月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2018年1月19日～2018年7月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、239円（1万口当たり、税込み）といたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第6期
	2018年1月19日～ 2018年7月18日
当期分配金	239
（対基準価額比率）	2.350%
当期の収益	239
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	659

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、米国を中心に長期金利が上昇する中でも、拡張的な財政政策の支えにより先進国を中心に高成長が続くと予想しています。米国経済は、トランプ政権による減税政策が本格化するため総需要は拡大すると見込んでおり、金融政策の正常化が続く一方で底堅い経済成長が続くと予想しています。ユーロ圏経済は、イタリア新政権による財政政策への不透明感から金融市場が混乱するリスクは残りますが、利上げ開始に慎重な欧州中央銀行（ECB）の政策姿勢のもと、2018年の経済成長は昨年と同程度の成長を維持すると予想しています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、バーゼルⅢ施行に向けた規制の強化と金融機関側の資本の積み増しやリスク削減の取組が進捗する予定です。金融機関の信用力は改善傾向が続くと考えており、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

（2018年1月19日～2018年7月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 29 (28) (0) (1)	% 0.284 (0.268) (0.003) (0.013)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (0) (1) (0)	0.014 (0.004) (0.006) (0.004)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	30	0.298	
期中の平均基準価額は、10,356円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2018年1月19日～2018年7月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設		解	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		261,723	292,560	937,955	1,039,320

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2018年1月19日～2018年7月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2018年7月18日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期 首（前期末）	当 期		末
		□ 数	□ 数	評 価	額
		千口	千口		千円
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		6,083,095	5,406,863		6,037,844

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2018年7月18日現在）

項 目	当 期		末
	評 価	額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		千円 6,037,844	% 95.9
コール・ローン等、その他		256,121	4.1
投資信託財産総額		6,293,965	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（7,412,527千円）の投資信託財産総額（7,636,866千円）に対する比率は97.1%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=113.01円、1ユーロ=131.74円、1英ポンド=148.19円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年7月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	12,388,446,112	
コール・ローン等	12,713,426	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	6,037,844,780	
未収入金	6,337,887,906	
(B) 負債	6,420,799,291	
未払金	6,177,776,065	
未払収益分配金	143,627,498	
未払解約金	80,000,000	
未払信託報酬	19,017,691	
未払利息	37	
その他未払費用	378,000	
(C) 純資産総額(A - B)	5,967,646,821	
元本	6,009,518,763	
次期繰越損益金	△ 41,871,942	
(D) 受益権総口数	6,009,518,763口	
1万口当たり基準価額(C / D)	9,930円	

(注) 期首元本額6,726,060,318円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額716,541,555円。当期末現在における1口当たり純資産額0.9930円。

(注) 第6期末現在において純資産額が元本を下回っており、その差額は△41,871,942円です。

○損益の状況（2018年1月19日～2018年7月18日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 11,241	
支払利息	△ 11,241	
(B) 有価証券売買損益	△254,368,989	
売買益	444,880,935	
売買損	△699,249,924	
(C) 信託報酬等	△ 19,396,229	
(D) 当期損益金(A + B + C)	△273,776,459	
(E) 前期繰越損益金	386,865,538	
(F) 追加信託差損益金	△ 11,333,523	
(配当等相当額)	(8,975,952)	
(売買損益相当額)	(△ 20,309,475)	
(G) 計(D + E + F)	101,755,556	
(H) 収益分配金	△143,627,498	
次期繰越損益金(G + H)	△ 41,871,942	
追加信託差損益金	△ 11,333,523	
(配当等相当額)	(8,975,952)	
(売買損益相当額)	(△ 20,309,475)	
分配準備積立金	387,116,058	
繰越損益金	△417,654,477	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第6期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(143,878,018円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(8,975,952円)および分配準備積立金額(386,865,538円)より分配対象収益額は539,719,508円(10,000口当たり898円)であり、うち143,627,498円(10,000口当たり239円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	239円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配 金	騰 落 率	中 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
2期 (2016年7月19日)	円 8,415	円 234	% △ 8.0	% -	% 94.8	% -	百万円 2,384	
3期 (2017年1月18日)	9,010	238	9.9	-	97.9	-	1,839	
4期 (2017年7月18日)	9,728	226	10.5	1.3	95.8	-	1,519	
5期 (2018年1月18日)	10,196	243	7.3	-	97.8	-	1,494	
6期 (2018年7月18日)	9,513	225	△ 4.5	0.6	96.9	-	1,320	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	券 率
		騰 落 率	率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(期 首) 2018年1月18日	円 10,196	% -	% -	% 97.8	% -	% -	
1月末	10,053	△1.4	-	97.7	-	-	
2月末	9,761	△4.3	-	96.1	-	-	
3月末	9,618	△5.7	-	97.4	-	-	
4月末	9,841	△3.5	0.5	97.5	-	-	
5月末	9,301	△8.8	0.6	99.7	-	-	
6月末	9,397	△7.8	0.6	94.0	-	-	
(期 末) 2018年7月18日	9,738	△4.5	0.6	96.9	-	-	

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2018年1月19日～2018年7月18日）



期首：10,196円

期末：9,513円（既払分配金（税込み）：225円）

騰落率：-4.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2018年1月18日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比4.5%の下落*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・円安/ドル高が進行したこと
- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入

<値下がり要因>

- ・円高/ユーロ安となったこと
- ・保有するハイブリッド証券の価格下落

投資環境

（2018年1月19日～2018年7月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、期首（前期末）に比べて下落しました。

期初から2018年2月にかけては、米連邦準備理事会（F R B）が予想より速いペースで利上げするとの見方から米国金利が急上昇しました。その後、米国金利はやや低下したものの、米中貿易戦争激化への懸念などからボラティリティが高まり、金融市場全般に流動性が低下する中、スプレッドが拡大したことから下落しました。4月にシリア情勢に対する懸念や米中貿易戦争への懸念が和らぎ、スプレッドがやや縮小する場面があったものの、その後もイタリアの政局混乱やユーロ離脱不安を背景とするリスクオフの動きからCoCo債を中心にスプレッドが拡大し、下落基調が続きました。6月中旬以降は再びスプレッドが縮小し、やや戻しました。

証券種別では、相対的にCoCo債が軟調だった一方で、米国優先証券は堅調でした。

為替市場において、円ドル・レートは、2018年3月中旬にかけて米国金利の急上昇に伴い世界的な株価急落から円高ドル安が進行しました。その後期末にかけては、米中貿易戦争激化の懸念やイタリアの政局不安などから一時的に円高に振れる局面があったものの、米国金利の上昇に伴い円安ドル高となりました。円ユーロ・レートは、欧州中央銀行（E C B）高官のユーロ高をけん制する発言やイタリアの政局に対する不透明感などから、円高ユーロ安が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年1月19日～2018年7月18日）

当ファンドはA B グローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンド>

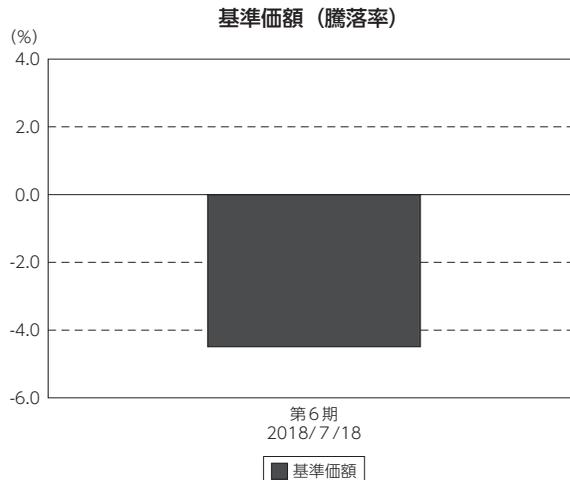
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、魅力的なバリュエーションを有する米国優先証券の組入比率が上昇した一方で、劣後債の組入比率は大きく低下しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年1月19日～2018年7月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2018年1月19日～2018年7月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、225円（1万口当たり、税込み）といたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第6期
	2018年1月19日～ 2018年7月18日
当期分配金	225
（対基準価額比率）	2.311%
当期の収益	225
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	366

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、米国を中心に長期金利が上昇する中でも、拡張的な財政政策の支えにより先進国を中心に高成長が続くと予想しています。米国経済は、トランプ政権による減税政策が本格化するため総需要は拡大すると見込んでおり、金融政策の正常化が続く一方で底堅い経済成長が続くと予想しています。ユーロ圏経済は、イタリア新政権による財政政策への不透明感から金融市場が混乱するリスクは残りますが、利上げ開始に慎重なECBの政策姿勢のもと、2018年の経済成長は昨年と同程度の成長を維持すると予想しています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、バーゼルⅢ施行に向けた規制の強化と金融機関側の資本の積み増しやリスク削減の取組が進捗する予定です。金融機関の信用力は改善傾向が続くと考えており、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2018年1月19日～2018年7月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	27 (26) (0) (1)	0.284 (0.268) (0.003) (0.013)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (0) (1) (0)	0.016 (0.004) (0.008) (0.004)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	29	0.300	
期中の平均基準価額は、9,661円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2018年1月19日～2018年7月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 827	千円 964	千口 99,535	千円 108,400

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2018年1月19日～2018年7月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2018年7月18日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期 首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 1,281,124	千口 1,182,416	千円 1,320,404

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2018年7月18日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 1,320,404	% 97.4
コール・ローン等、その他	35,410	2.6
投資信託財産総額	1,355,814	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（7,412,527千円）の投資信託財産総額（7,636,866千円）に対する比率は97.1%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=113.01円、1ユーロ=131.74円、1英ポンド=148.19円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年7月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,355,814,915	
コール・ローン等	10,003	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	1,320,404,912	
未収入金	35,400,000	
(B) 負債	35,297,461	
未払収益分配金	31,231,327	
未払信託報酬	3,958,134	
その他未払費用	108,000	
(C) 純資産総額(A - B)	1,320,517,454	
元本	1,388,058,993	
次期繰越損益金	△ 67,541,539	
(D) 受益権総口数	1,388,058,993口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,513円	

(注) 期首元本額1,465,623,020円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額77,564,027円。当期末現在における1口当たり純資産額0.9513円。

(注) 第6期末現在において純資産額が元本を下回っており、その差額は△67,541,539円です。

○損益の状況（2018年1月19日～2018年7月18日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	△59,480,587	
売買益	5,887,904	
売買損	△65,368,491	
(B) 信託報酬等	△ 4,066,134	
(C) 当期損益金(A + B)	△63,546,721	
(D) 前期繰越損益金	45,173,684	
(E) 追加信託差損益金	△17,937,175	
(配当等相当額)	(5,518,355)	
(売買損益相当額)	(△23,455,530)	
(F) 計(C + D + E)	△36,310,212	
(G) 収益分配金	△31,231,327	
次期繰越損益金(F + G)	△67,541,539	
追加信託差損益金	△17,937,175	
(配当等相当額)	(5,518,355)	
(売買損益相当額)	(△23,455,530)	
分配準備積立金	45,365,248	
繰越損益金	△94,969,612	

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第6期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(31,422,891円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(5,518,355円)および分配準備積立金額(45,173,684円)より分配対象収益額は82,114,930円(10,000口当たり591円)であり、うち31,231,327円(10,000口当たり225円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	225円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。



ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

第3期（決算日2018年7月18日）

（計算期間：2017年7月19日～2018年7月18日）

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	①世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目差して運用を行います。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関（関連会社等を含みます。）が発行する銘柄を中心に投資を行います。 ③ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。
主要運用対象	世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] を主要投資対象とします。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	①外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ②株式への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ハイブリッド証券			債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率	優先組比率	株比率	債券組比率		
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	% -	百万円 10,580
1期 (2016年7月19日)	8,874	△11.3	-	-	94.8	-	13,691
2期 (2017年7月18日)	10,826	22.0	1.3	1.3	95.8	-	9,281
3期 (2018年7月18日)	11,167	3.1	0.6	0.6	97.0	-	7,358

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ハイブリッド証券			債券先物比率	債券率
	円	騰落率	優先組比率	株比率	債券組比率		
(期首) 2017年7月18日	円 10,826	% -	% 1.3	% 1.3	% 95.8	% -	% -
7月末	10,809	△0.2	1.1	1.1	96.3	-	-
8月末	10,865	0.4	0.4	0.4	96.7	-	-
9月末	11,134	2.8	-	-	97.5	-	-
10月末	11,353	4.9	0.7	0.7	96.0	-	-
11月末	11,403	5.3	-	-	97.7	-	-
12月末	11,580	7.0	-	-	97.8	-	-
2018年1月末	11,496	6.2	-	-	97.7	-	-
2月末	11,167	3.1	-	-	96.0	-	-
3月末	11,009	1.7	-	-	97.3	-	-
4月末	11,269	4.1	0.5	0.5	97.4	-	-
5月末	10,657	△1.6	0.6	0.6	99.5	-	-
6月末	10,772	△0.5	0.6	0.6	93.8	-	-
(期末) 2018年7月18日	円 11,167	% 3.1	% 0.6	% 0.6	% 97.0	% -	% -

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

※参考指数について
当マザーファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、参考指数を設けておりません。

運用経過

A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2017年7月19日～2018年7月18日)

○期中の基準価額の推移



○基準価額等の推移

基準価額は、前期末比3.1%の上昇となりました。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・円安／ドル高が進行したこと。
- ・円安／ユーロ高が進行したこと。
- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入

(2017年7月19日～2018年7月18日)

投資環境

当期のハイブリッド証券市場は、期首（前期末）に比べて上昇しました。

期初から2018年1月下旬にかけては、米国金利の上昇や北朝鮮を巡る地政学リスクの高まり、米国のトランプ政権を巡る政治的な混迷などがあったものの、おおむね良好な欧州金融機関の決算発表のほか、米国の税制改革法案の実現がほぼ確実となったことなどが好感され、スプレッドが縮小したことから堅調に推移しました。その後期末にかけては、米国金利の上昇に加えて、米中貿易戦争激化への懸念からボラティリティが高まったことや、イタリアの政局混乱やユーロ離脱不安の高まりなどを背景とするリスクオフの動きから、スプレッドが拡大し、軟調に推移しました。証券種別では資本性の高いCoCo債や、優先証券（従来型）が相対的に堅調でした。

為替市場においては、円安ドル高および円安ユーロ高となりました。

円ドル・レートは、期初から2017年9月初旬にかけては、米国金利の低下に伴い円高ドル安基調で推移したものの、その後年末にかけては米国の税制改革法案への期待などを背景に円安ドル高が進行しました。2018年に入ると、2月の世界的な株式市場の下落や、3月の米中貿易戦争への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まり円高ドル安基調となったものの、その後は、米国金利の上昇を背景に再び円安ドル高が進行しました。円ユーロ・レートは、期初から2018年1月下旬にかけては、堅調な欧州経済や欧州中央銀行（ECB）による金融緩和縮小方針が再認識されたことから円安ユーロ高基調で推移しました。その後期末にかけては、ECB高官によるユーロ高をけん制する発言やイタリアの政局に対する不透明感などから円高ユーロ安が進行しました。

運用概況

(2017年7月19日～2018年7月18日)

当マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs (Global Systemically Important Financial Institutions) に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。なお、当マザーファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

その結果、資本性の高いCoCo債の組入比率を大きく引き上げました。一方で、劣後債や米国優先証券については、組入比率は下がりました。

今後の運用方針

世界経済は、米国を中心に長期金利が上昇する中でも、拡張的な財政政策の支えにより先進国を中心に高成長が続くと予想しています。米国経済は、トランプ政権による減税政策が本格化するため総需要は拡大すると見込んでおり、金融政策の正常化が続く一方で底堅い経済成長が続くと予想しています。ユーロ圏経済は、イタリア新政権による財政政策への不透明感から金融市場が混乱するリスクは残りますが、利上げ開始に慎重なECBの政策姿勢のもと、2018年の経済成長は昨年と同程度の成長を維持すると予想しています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、バーゼルⅢ施行に向けた規制の強化と金融機関側の資本の積み増しやリスク削減の取組が進捗する予定です。金融機関の信用力は改善傾向が続くと考えており、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月19日～2018年7月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1 (1)	0.012 (0.008)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.004)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	1	0.012	
期中の平均基準価額は、11,126円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年7月19日～2018年7月18日)

ハイブリッド証券

優先株

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株 385	千米ドル 1,023	百株 628	千米ドル 1,731

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千米ドル 26,402	千米ドル 44,796
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	社債券	1,515	1,270
	イタリア	社債券	4,448	6,054
	フランス	社債券	890	—
	オランダ	社債券	821	1,059
	スペイン	社債券	4,809	3,309
	オーストリア	社債券	1,400	555
	アイルランド	社債券	739	641
	その他	社債券	8,939	5,972
イギリス	社債券	千英ポンド 327	千英ポンド 1,463	

(注) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) -印は該当なし。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月19日～2018年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年7月18日現在)

ハイブリッド証券

優先株

銘柄	株数	期首(前期末)	当期		業種等
			株数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	千米ドル	千円	
MORGAN STANLEY Pfd	393	百株	-	-	各種金融
STATE STREET CORP Pfd	-	150	389	43,989	各種金融
合計	株数・金額	393	150	389	43,989
	銘柄数<比率>	1	1	-	<0.6%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

外国公社債

(A) 外国(外貨建) 公社債 債券種類別開示

区分	額面金額	当期		組入比率	うちBB格 以下組入比率	期末		
		外貨建金額	邦貨換算金額			残存期間別	組入比率	
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 34,540	千米ドル 35,226	千円 3,980,918	% 54.1	% 21.5	% 54.1	% -	% -
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	2,000	2,071	272,840	3.7	-	3.7	-	-
イタリア	3,438	3,954	521,022	7.1	3.5	3.5	3.6	-
フランス	810	884	116,560	1.6	0.8	1.6	-	-
スペイン	5,800	6,300	830,087	11.3	11.3	11.3	-	-
オーストリア	800	742	97,754	1.3	1.3	1.3	-	-
アイルランド	410	443	58,485	0.8	0.8	0.8	-	-
その他	6,952	7,429	978,782	13.3	0.3	13.3	-	-
イギリス	千英ポンド 1,994	千英ポンド 1,873	277,613	3.8	1.4	3.8	-	-
合計	-	-	7,134,066	97.0	40.8	93.3	3.6	-

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 格付はムーディーズとS & Pの二社のうち最も高い格付を採用して集計したものです。

ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

(B) 外国 (外貨建) 公社債 個別銘柄開示

銘柄	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	ハイブリッド証券等	AMERICAN INTL GROUP	5.75	1,116	1,100	124,349	2048/4/1
		BANK OF AMERICA CORP	6.3	1,600	1,699	192,066	2099/9/10
		BANK OF AMERICA CORP	6.5	955	1,017	114,965	2099/10/23
		CITIGROUP INC	5.95	1,600	1,629	184,130	2099/7/30
		CITIGROUP INC	6.25	1,000	1,036	117,169	2099/8/15
		COUNTRYWIDE CAPITAL III	8.05	2,545	3,142	355,144	2027/6/15
		CREDIT AGRICOLE SA	8.125	2,005	2,157	243,862	2099/12/23
		CREDIT SUISSE GROUP	7.5	336	342	38,752	2099/7/17
		CREDIT SUISSE GROUP	7.5	728	766	86,590	2099/12/11
		CREDIT SUISSE GROUP	6.25	1,595	1,583	178,954	2099/12/18
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.0	1,118	1,046	118,315	2099/11/10
		ING GROEP NV	6.5	515	506	57,284	2099/10/16
		INTESA SANPAOLO SPA	5.017	2,400	2,207	249,439	2024/6/26
		JPMORGAN CHASE & CO	6.75	1,000	1,090	123,239	2099/8/1
		JPMORGAN CHASE & CO	4.625	1,250	1,155	130,550	2099/11/1
		JPMORGAN CHASE & CO	5.15	1,545	1,525	172,358	2099/11/1
		LIBERTY MUTUAL GROUP	7.8	1,500	1,769	199,971	2037/3/15
		PRUDENTIAL FINANCIAL INC	5.625	775	803	90,785	2043/6/15
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	4.65438	2,800	2,685	303,517	2099/9/30
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	8.625	452	485	54,825	2099/12/31
		SOCIETE GENERALE	8.0	1,000	1,060	119,790	2099/9/29
		STANDARD CHARTERED PLC	3.86878	3,100	2,679	302,822	2099/7/30
		STANDARD CHARTERED PLC	8.75	675	698	78,988	2099/10/2
UBS GROUP AG	7.125	600	625	70,699	2099/8/10		
WELLS FARGO & CO	5.875	2,330	2,409	272,342	2099/12/15		
小	計				3,980,918		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	ハイブリッド証券等	ALLIANZ SE	2.241	500	505	66,537	2045/7/7
		ALLIANZ SE	3.099	1,500	1,565	206,302	2047/7/6
イタリア	ハイブリッド証券等	INTESA SANPAOLO SPA	7.75	915	1,008	132,897	2099/7/11
		UNICREDIT SPA	6.95	1,723	2,022	266,508	2022/10/31
		UNICREDIT SPA	9.25	800	923	121,616	2099/12/3
フランス	ハイブリッド証券等	BNP PARIBAS	6.125	400	441	58,226	2099/12/17
		SOCIETE GENERALE	6.75	410	442	58,333	2099/10/7
スペイン	ハイブリッド証券等	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	8.875	1,000	1,131	149,030	2099/10/14
		BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	5.875	1,000	1,033	136,126	2099/11/24
		BANCO SANTANDER SA	6.75	2,000	2,175	286,534	2099/10/25
		CAIXABANK	6.75	1,800	1,961	258,395	2099/12/13
オーストリア	ハイブリッド証券等	BAWAG GROUP AG	5.0	800	742	97,754	2099/11/14
アイルランド	ハイブリッド証券等	BANK OF IRELAND	7.375	410	443	58,485	2099/12/18
その他	ハイブリッド証券等	AVIVA PLC	6.125	1,100	1,312	172,865	2043/7/5
		DANSKE BANK AS	5.875	742	808	106,449	2099/10/6
		HSBC HOLDINGS PLC	6.0	1,990	2,249	296,314	2099/9/29
		NORDEA BANK AB	3.5	1,970	1,822	240,034	2099/3/12
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	2.006	150	146	19,357	2099/9/30
		UBS GROUP AG	5.75	1,000	1,091	143,761	2099/2/19
小	計				2,875,534		
イギリス			千英ポンド	千英ポンド			
ハイブリッド証券等	BARCLAYS PLC	7.25	653	676	100,289	2099/12/15	
		CITIGROUP CAPITAL XVIII	1.55563	1,341	1,196	177,324	2067/6/28
小	計				277,613		
合	計				7,134,066		

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付を入れております。

○投資信託財産の構成

(2018年7月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
優先株	千円 43,989	% 0.6
公社債	7,134,066	93.4
コール・ローン等、その他	458,811	6.0
投資信託財産総額	7,636,866	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (7,412,527千円) の投資信託財産総額 (7,636,866千円) に対する比率は97.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート (各1通貨単位当たり) は、1米ドル=113.01円、1ユーロ=131.74円、1英ポンド=148.19円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年7月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,777,137,602 円
コール・ローン等	292,087,695
優先株 (評価額)	43,989,142
公社債 (評価額)	7,134,066,479
未収入金	222,048,288
未収利息	78,010,043
前払費用	6,935,955
(B) 負債	418,771,656
未払金	140,271,000
未払解約金	278,500,000
未払利息	656
(C) 純資産総額(A - B)	7,358,365,946
元本	6,589,280,642
次期繰越損益金	769,085,304
(D) 受益権総口数	6,589,280,642口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,167円

(注) 期首元本額 8,573,468,430円、期中追加設定元本額 927,627,597円、期中一部解約元本額2,911,815,385円。当期末現在における1口当たり純資産額1.1167円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記の通りです。

＜組入元本額の内訳＞

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	(適格機関投資家専用)	5,406,863,778円
A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	(適格機関投資家専用)	1,182,416,864円

○お知らせ

該当事項はありません。

○損益の状況 (2017年7月19日～2018年7月18日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	467,816,012 円
受取配当金	490,520
受取利息	467,668,945
支払利息	△ 343,453
(B) 有価証券売買損益	△140,783,035
売買益	245,836,171
売買損	△386,619,206
(C) 信託報酬等	△ 1,054,096
(D) 当期損益金(A + B + C)	325,978,881
(E) 前期繰越損益金	708,392,598
(F) 追加信託差損益金	90,538,440
(G) 解約差損益金	△355,824,615
(H) 計(D + E + F + G)	769,085,304
次期繰越損益金(H)	769,085,304

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。